

# でん粉の需給見通しについて

平成22年2月

**農林水産省**

## 目 次

	ページ
でん粉の需給見通し	1
○ でん粉需給の推移	2
○ 平成21でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し	3
 (参考)	
1 いもの生産状況	7
(1) ばれいしょ	
(2) かんしょ	
2 コーンスターチ用とうもろこしの国別輸入量の推移	9
3 とうもろこしのシカゴ相場の推移	10
4 外国産でん粉の輸入量等の推移	11
5 化工でん粉の輸入量等の推移	12
6 糖化製品の用途別販売数量	13
(1) 異性化糖	
(2) ぶどう糖	
(3) 水あめ	
7 国内産いもでん粉の用途別販売数量の推移	16
8 でん粉価格調整制度における調整金収支の状況	17

## でん粉の需給見通し

(単位:千トン)

		19でん粉年度(実績)			20でん粉年度(実績)			21でん粉年度(見込み)			22でん粉年度 (見通し)	
		10-3月	4-9月		10-3月	4-9月		10-3月	4-9月			
需要量	糖化製品	858	982	1,840	863	965	1,828	827	933	1,760	1,760	
	化工でん粉	202	195	397	171	167	338	167	167	334	334	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	309	302	611	305	289	593	297	283	580	580	
	合計			2,848			2,759			2,674	2,674	
供給量	前期からの繰越	23	166	23	28	152	28	21	144	21	28	
	国産いもでん粉	283	—	283	269	—	269	247	—	247	300	
	かんしょでん粉	45	—	45	46	—	46	52	—	52	60	
	ばれいしょでん粉	238	—	238	223	—	223	195	—	195	240	
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	1,153	1,263	2,416	1,115	1,209	2,324	1,086	1,185	2,271	2,213
	輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	60	61	121	62	65	127	65	64	129	127	
	輸入でん粉(その他用)	7	5	12	7	4	11	6	7	13	14	
	小麦でん粉	11	10	21	10	10	20	10	11	21	21	
	合計			2,876			2,780			2,702	2,702	
	次期への繰越			28			21			28	28	

(注) 1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2. でん粉年度とは、10月から翌年9月まで。

○ でん粉需給の推移

需要

(単位:千トン)

でん粉 年度	糖化製品 (異性化糖・ 水あめ等)	化 工 でん粉	その他					需要量計
				繊維・製紙 段ボール	ビール	水 産 練製品	その他 (注)	
5	1,694	384	759	211	158	50	340	2,837
6	1,678	385	757	234	162	38	323	2,820
7	1,681	393	775	255	164	39	317	2,849
8	1,743	405	837	274	175	41	347	2,985
9	1,779	412	812	266	177	39	330	3,003
10	1,844	389	765	244	165	38	318	2,998
11	1,862	426	749	260	158	35	296	3,037
12	1,865	441	732	259	153	34	286	3,038
13	1,867	420	719	247	156	32	284	3,006
14	1,877	423	700	243	142	32	283	3,000
15	1,909	421	683	240	139	28	276	3,013
16	1,922	426	642	226	129	24	263	2,990
17	1,947	421	639	229	127	21	262	3,008
18	1,949	419	610	220	123	20	247	2,978
19	1,840	397	611	212	117	25	257	2,848
20	1,828	338	593	175	106	25	287	2,759

(注):その他の欄のその他は、片栗粉、菓子、めん類、調味料、建材、医薬、飼料などの需要量の計である。

需要見通し

21	1,760	334	580	165	103	25	287	2,674
22	1,760	334	580	165	103	25	287	2,674

供給

(単位:千トン)

でん粉 年度	かんしょ でん粉	ばれい しょ でん粉	コーン スターチ	輸 入 でん粉	小 麦 でん粉	供給量計
6	77	227	2,368	118	30	2,820
7	82	239	2,379	118	31	2,849
8	83	264	2,477	126	35	2,985
9	83	249	2,533	108	30	3,003
10	79	235	2,546	110	28	2,998
11	74	236	2,558	141	28	3,037
12	67	232	2,553	157	29	3,038
13	70	227	2,531	151	27	3,006
14	74	229	2,524	147	26	3,000
15	62	233	2,527	166	25	3,013
16	55	240	2,531	141	23	2,990
17	53	233	2,561	141	21	3,008
18	58	240	2,517	144	20	2,979
19	43	235	2,416	133	21	2,848
20	42	235	2,324	139	20	2,759

供給見通し

21	48	192	2,271	142	21	2,674
22	60	240	2,213	141	21	2,674

○ 平成21でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

(単位:千トン)

		21年10月～22年3月(見込み)			22年4月～9月(見通し)			21でん粉年度計			
		かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	上期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	下期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計	
需 要	交付金 対 象 用 途	糖化製品	16	29	45	20	19	39	36	48	84
		化工でん粉	1	13	14	0	12	12	1	25	26
		その他	5	6	11	6	6	12	11	12	23
		小計	22	48	70	26	37	63	48	85	133
	その他の用途	0	54	54	0	53	53	0	107	107	
	計	22	102	124	26	90	116	48	192	240	
供 給	前期からの繰越	6	15	21	36	108	144	6	15	21	
	生産量	52	195	247	0	0	0	52	195	247	
	計	58	210	268	36	108	144	58	210	268	
次期への繰越		36	108	144	10	18	28	10	18	28	

(注) 1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2. 交付金対象用途のその他は、ばれいしょでん粉については、めん類(即席めん類)、板紙(層間接着用)、水産養殖餌料など、かんしょでん粉については菓子類、めん類、水産練製品、建材などである。

交付金対象用途外のその他の用途は、片栗粉、菓子類(ばれいしょでん粉)、練り製品(ばれいしょでん粉)、めん類(ばれいしょでん粉)などである。

○ 平成22でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

(単位:千トン)

			かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計
需 要	交付金 対 象 用 途	糖化製品	60	135	195
		化工でん粉			
		その他			
	その他の用途		0	105	105
	計		60	240	300
供 給	前期からの繰越		10	18	28
	生産量		60	240	300
	計		70	258	328
次期への繰越			10	18	28

## 1 でん粉の需要量の見通し

### (1) 糖化用

#### ①20でん粉年度

糖化製品の需要は、異性化糖の最需要期である夏場の天候不順（梅雨明けの遅れ及び冷夏）の影響により飲料向けの販売が減少したこと、また、発泡酒の販売減少に加え糖質低減（糖質ゼロ又は糖質オフ）製品の増加から水あめの需要が減少したこと等から、前年比12千トンの減の1,828千トンとなった。

#### ②21でん粉年度

糖化製品の需要は、異性化糖は10-12月期の販売実績が前年に比べ約10千トン（でん粉ベース）減少しており、また、水あめは大手ビールメーカーから更なる発泡酒の減産見込みが示されたことから14千トンの減少を見込み、さらに、ぶどう糖では液状ぶどう糖の需要が工業用を中心に減少していることから12千トンの減少を見込んだ結果、10-3月期の需要見込みを前年同期実績の863千トンから36千トンを差し引いた827千トン、4-9月期は10-3月期の需要動向を踏まえ前年同期比32千トン減の933千トンとし、21でん粉年度の需要量は前年に比べ68千トン減の1,760千トンと見込んだ。

#### ③22でん粉年度

22でん粉年度については、今後の景気の動向を見極める必要があることから21でん粉年度同様の1,760千トンとした。

### (2) 化工でん粉用

#### ①20でん粉年度

化工でん粉用の需要は、コーンスターチを原料とする製紙・段ボール用の化工でん粉需要の減少等から、全体として前年比59千トン減の338千トンとなった。

#### ②21でん粉年度

21年10-12月の化工でん粉の販売数量は、前年に引き続き製紙・段ボール用需要の減少から、前年同期比4千トン減となったことから、10-3月期の需要見込みを前年同期実績の171千トンから4千トン差し引いた167千トンとした。4-9月期は10-3月期と同様の167千トンの需要を見込み、21でん粉年度の需要量は前年に比べ4千トン減の334千トンと見込んだ。

#### ③22でん粉年度

22でん粉年度については、今後の景気の動向を見極める必要があることから21でん粉年度同様の334千トンとした。

### (3) その他の用途

#### ①20でん粉年度

製紙・段ボール需要及びビール用需要が当初の見込みを下回ったものの、不況の影響等により家庭内調理の機会が増えたため家庭用の加工食品の需要が増加し、その他食品用の需要が当初見込みよりも上回ったが、全体としては前年比18千トン減の593千トンとなった。

#### ③21でん粉年度

製紙・段ボール需要は依然として景気情勢が不透明であること及び輸入原紙の増加等の影響から前年同期比10千トン減の165千トンと見込み、また、ビール需要は大手ビールメーカーが減産の計画であることから前年比3千トンの需要減少を見込んだ結果、全体としては13千トン減の580千トンと見込んだ。

#### ③22でん粉年度

食品用の需要については堅調に推移することが見込まれるが、製紙・段ボールを中心とした工業用需要は今後の景気の動向を見極める必要があることから、22でん粉年度は21でん粉年度同様の580千トンとした。

## 2 でん粉の供給量の見通し

### (1) かんしょでん粉

かんしょでん粉については、20年産でん粉原料用かんしょは、いもの肥大期である秋口の最低気温が高く肥大が進まなかったことから集荷量は前年比6千ト増に留まったため、かんしょでん粉は前年比1千ト増の46千トとなった。

21年産については、生育期の天候に恵まれたため、原料かんしょの集荷量は前年比17千ト増の166千トとなったことから、かんしょでん粉の生産量は前年比6千ト増の52千トと見込んだ。また、22年産については、平成21年度第1回でん粉に関する協議会における支援対象数量の60千トが計画的に生産されるものと見込んだ。

### (2) ばれいしょでん粉

ばれいしょでん粉については、20年産でん粉原料用ばれいしょは作付面積の減少に加え、夏期の小雨の影響等により小玉傾向となり、集荷量は前年比101千ト減の1,019千トとなったため、ばれいしょでん粉は前年比15千ト減の223千トとなった。

21年産については、北海道における夏期の天候不順（長雨及び冷夏）の影響により原料ばれいしょが不作となったため、ばれいしょでん粉の生産量を前年比28千ト減の195千トと見込んだ。また、22年産については、平成21年度第1回でん粉に関する協議会における240千ト（うち支援対象135千ト）が計画的に生産されるものと見込んだ。

### (3) コーンスターチ

コーンスターチの原料となるとうもろこしについては、アメリカで降雪の影響からとうもろこしの収穫が遅れているものの、2009/10年産の収穫量が過去最高になると見込まれていることから、価格は現在3ドル後半で推移している。2009/10年産の世界のとうもろこしの生産量は、中国、メキシコ等で減少が見込まれるものの、アメリカ及びアルゼンチン等で増加が見込まれ、全体では対前年度比0.6%増の796百万トが見込まれることから、当面、供給面の不安はないものと考えられる。また、コーンスターチの主な需要先である糖化製品については、全体的に需要が減少、糖化製品以外の需要については、製紙・段ボール向けの化工でん粉及び生でん粉等の需要の減少から、21でん粉年度は2,271千トの供給量になると見込んだ。22でん粉年度についても、需要に見合った数量が供給されると見込んだ。

### (4) 輸入でん粉

輸入でん粉については、20でん粉年度では、とうもろこしの高騰に伴うタピオカでん粉の割安感から、糖化用向けの供給が堅調に推移し、また、化工でん粉用についても国内産ばれいしょでん粉の減産により輸入でん粉の需要が堅調だったことから前年比6千ト増の127千トとなった。

21でん粉年度は、国内産いもでん粉の減産等の影響による輸入でん粉の増加を見込み129千ト、22でん粉年度については127千トとした。

また、調整金徴収対象以外の輸入でん粉は、20でん粉年度は11千トであった。

21及び22でん粉年度については、関税割当の実績から13千ト、14千トとそれぞれ見込んだ。

### (5) 小麦でん粉

小麦でん粉は、畜水産練製品向けとして使用されており、20でん粉年度はほぼ前年並の20千トとなった。

21及び22でん粉年度については、畜水産練製品向け需要が堅調であることから21千トと見込んだ。



## < 参考 >

### 1 いもの生産状況

#### (1) ばれいしょの生産状況等（北海道）

年産	作付面積	単収	収 穫 量			歩留り	でん粉 生産量	作付農家 戸数	一戸当たり 作付面積	全算入生産費	労働時間
			でん粉用	生食・加工食品用等							
	千ha	kg/10a	千トン	千トン	千トン	%	千トン	千戸	ha	円/10a	時間/10a
12	59.1	3,660	2,161	1,023	1,138	20.5	210	20.6	2.86	67,661	8.28
13	58.2	3,920	2,278	1,142	1,136	20.4	234	19.6	2.97	69,011	8.42
14	57.9	4,060	2,349	1,224	1,125	20.6	252	19.2	3.02	70,916	8.74
15	55.6	4,110	2,286	1,155	1,131	21.3	245	19.1	2.91	71,849	8.61
16	55.4	4,040	2,235	1,107	1,128	21.9	242	18.9	2.93	71,441	8.47
17	55.7	3,860	2,150	1,062	1,086	21.8	231	17.1	3.26	70,773	8.08
18	55.7	3,630	2,022	945	1,077	21.9	207	16.6	3.40	71,322	7.90
19	56.9	3,940	2,242	1,120	1,122	21.3	238	15.9	3.58	71,393	7.90
20	55.2	3,860	2,131	1,019	1,112	21.9	223	15.4	3.58	77,030	7.75

- 注：1. 作付面積、単収及び収穫量については、統計部「野菜生産出荷統計」による。  
 2. 収穫量のうちでん粉用及び生食・加工食品用等並びに歩留り、でん粉生産量については生産流通振興課調べ。  
 3. 生食・加工食品用等とは、市場販売用、加工食品用、農家保有（食用、飼料用、種子用）、販売種子、その他、減耗をいう。  
 4. 作付農家戸数及び一戸当たり作付面積は北海道庁調べ（推計値）。  
 5. 生産費については、統計部「農業経営統計調査報告」による。  
 6. 「全算入生産費」とは、生産に要した物財費と労働費の費用合計から副産物価額を控除したものに、支払利子及び支払地代、さらに実際には支払いの伴わない自己資本利子及び自作地地代を算入したものである。

(2) かんしょの生産状況等（南九州）

年産	作付面積	単収	収 穫 量			歩留り	でん粉 生産量	作付農家 戸数	一戸当たり 作付面積	全算入生産費	労働時間
			でん粉用	生食・加工食品用等							
	千ha	kg/10a	千トン	千トン	千トン	%	千トン	千戸	ha	円/10a	時間/10a
12	15.3	2,770	425	200	224	30.3	61	31.1	0.49	125,893	63.73
13	14.7	3,060	450	228	222	29.7	68	29.8	0.49	126,511	62.46
14	13.9	3,220	448	252	196	30.4	76	27.9	0.50	124,410	62.13
15	13.9	2,830	393	189	204	30.2	57	24.7	0.56	123,500	60.46
16	14.8	2,950	437	168	269	29.1	49	26.3	0.56	122,507	58.74
17	15.9	3,060	487	170	317	30.9	52	26.5	0.60	122,618	57.72
18	16.6	2,850	472	168	304	31.5	53	26.5	0.63	123,293	56.50
19	17.0	2,610	443	145	298	31.2	45	21.1	0.81	133,942	61.43
20	17.3	2,830	491	151	340	30.2	46	20.6	0.84	139,250	60.17

- 注：1. 作付面積、単収及び収穫量については統計部「作物統計」による。  
 2. 収穫量のうちでん粉用及び生食・加工食品用等並びに歩留り、でん粉生産量については生産流通振興課調べ。  
 3. 生食・加工食品用等とは、市場販売用、加工食品用、農家保有（食用、飼料用、種子用）、アルコール用、減耗をいう。  
 4. 作付農家戸数及び一戸当たり作付面積は各県庁調べ。  
 5. 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。  
 6. 生產品については、統計部「農業経営統計調査報告」による。  
 7. 「全算入生産費」とは、生産に要した物財費と労働費の費用合計から副産物価額を控除したものに、支払利子及び支払地代、さらに実際には支払いの伴わない自己資本利子及び自作地地代を算入したものである。  
 8. 労働時間は直接労働時間である。

## 2 コーンスターチ用とうもろこしの国別輸入量の推移

(単位:トン、円/KG、%)

でん粉 年 度	コーンスターチ用 とうもろこし		国 別 内 訳											
			アメリカ		中 国		南アフリカ		ブラジル		アルゼンチン		その他	
			単価	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア			
8	3,528,150	19.21	3,102,559	87.9%	—	—	401,483	11.4%	—	—	100	0.0%	24,008	0.7%
9	3,645,607	18.16	3,423,651	93.9%	—	—	199,964	5.5%	—	—	—	—	12,992	0.4%
10	3,602,177	13.38	3,537,210	98.2%	—	—	64,967	1.8%	—	—	—	—	—	—
11	3,555,272	12.83	3,529,315	99.3%	—	—	25,957	0.7%	—	—	—	—	—	—
12	3,386,825	14.75	2,290,253	67.6%	236,564	7.0%	523,466	15.5%	188,932	5.6%	147,610	4.4%	—	—
13	3,171,610	15.63	2,246,797	70.8%	65,116	2.1%	259,430	8.2%	497,548	15.7%	102,719	3.2%	—	—
14	3,577,962	17.18	2,872,559	80.3%	451,831	12.6%	—	—	144,764	4.0%	108,808	3.0%	—	—
15	3,465,307	19.31	2,967,997	85.6%	332,070	9.6%	20,780	0.6%	117,656	3.4%	26,804	0.8%	—	—
16	3,547,086	17.99	3,370,024	95.0%	113,238	3.2%	43,514	1.2%	20,310	0.6%	—	—	—	—
17	3,583,320	18.19	3,354,375	93.6%	171,730	4.8%	57,215	1.6%	—	—	—	—	—	—
18	3,512,308	26.30	3,397,730	96.7%	105,578	2.9%	—	—	9,000	0.3%	—	—	—	—
19	3,436,720	35.30	3,411,353	99.3%	391	0.0%	—	—	24,976	0.7%	—	—	—	—
20	3,189,420	26.40	3,188,969	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	451	0.0%

資料:貿易統計

### 3 とうもろこしのシカゴ相場の推移

(セント/ブッシェル)

	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
1月	215.99	216.32	206.76	235.82	266.73	200.13	213.39	390.88	488.57	390.96	385.87
2月	219.66	211.30	204.59	236.29	282.96	200.34	222.96	411.22	516.08	361.88	
3月	227.45	211.17	203.61	233.15	302.49	213.82	223.59	402.01	547.69	376.50	
4月	227.47	205.60	198.77	238.52	315.56	207.88	236.82	361.55	593.36	387.23	
5月	235.78	196.14	205.64	245.92	299.81	208.11	245.48	370.28	597.86	417.98	
6月	207.92	192.84	211.96	239.44	286.21	221.84	238.13	380.98	698.89	412.45	
7月	181.58	212.45	232.39	215.44	235.63	236.43	244.35	325.98	641.63	331.97	
8月	178.29	216.97	259.39	220.42	224.34	215.16	229.78	330.88	549.32	327.14	
9月	185.58	213.81	267.73	228.88	213.99	204.21	241.93	351.04	539.82	322.39	
10月	200.10	203.57	252.42	225.55	204.98	202.06	303.26	357.86	412.63	372.01	
11月	209.33	203.52	242.70	237.30	198.94	193.00	355.81	381.55	373.82	389.94	
12月	213.71	206.08	237.58	247.27	200.38	201.82	369.61	423.79	362.38	395.50	
平均	208.57	207.48	226.96	233.67	252.67	208.73	260.43	374.00	526.84	373.83	385.87

(注)1ブッシェルは、25.401kg。

資料:シカゴ商品取引所公表のとうもろこし先物相場の期近ものの月平均

#### 4 外国産でん粉の輸入量等の推移

(単位:トン、円/KG)

でん粉 年 度	タピオカでん粉		ばれいしょでん粉		サゴでん粉		コーンスターチ		その他でん粉		合 計
	タイ、ベトナム、 インドネシア	単価	ドイツ、 オランダ	単価	マレーシア	単価	フランス、 アメリカ、韓国	単価		単価	
8	95,079	29.4	42,583	62.8	10,790	42.4	52	156.5	661	306.0	149,165
9	82,064	33.5	36,498	54.3	12,791	42.1	103	111.9	586	359.8	132,041
10	93,697	25.2	29,977	44.1	12,761	33.6	115	114.4	617	317.2	137,167
11	110,757	19.3	38,331	41.8	14,076	29.1	82	124.4	602	284.8	163,847
12	125,868	21.6	41,335	52.0	13,863	31.1	103	145.2	965	241.3	182,134
13	118,884	26.2	34,441	54.7	14,554	32.5	105	126.3	685	269.7	168,669
14	112,866	23.3	37,203	52.8	15,434	29.5	88	218.1	744	271.7	166,334
15	124,180	22.3	39,621	60.1	15,283	27.0	168	145.0	840	240.2	180,091
16	104,388	27.8	38,627	55.9	16,588	29.1	1,949	46.9	893	257.2	162,445
17	114,484	28.6	38,382	49.5	14,875	37.7	370	116.1	879	286.0	168,990
18	136,973	33.9	19,572	68.2	15,312	45.7	584	123.0	985	309.5	173,426
19	150,252	43.7	2,031	86.3	17,885	50.0	283	163.4	818	299.6	171,269
20	141,888	29.6	10,614	54.4	15,978	47.2	747	115.0	718	289.9	169,945

(注)その他でん粉には、葛でん粉、蓮根でん粉、緑豆でん粉、えん豆でん粉等がある。

資料:貿易統計

## 5 化工でん粉の輸入量等の推移

(単位:トン、円/KG)

暦年	でん粉誘導体						デキストリン等		つや出し剤・仕上げ剤		合計	
	東南アジア	単価	欧州	単価	その他	単価	タイ、 アメリカ	単価	タイ	単価		単価
9	149,188	65.8	60,678	88.8	58,879	86.3	11,149	133.0	3,755	54.7	283,648	77.5
10	154,834	70.7	55,910	87.1	47,916	89.0	10,233	143.0	5,006	62.7	273,899	79.8
11	170,460	57.9	63,539	74.7	54,094	74.4	7,542	94.0	4,841	56.4	300,476	65.3
12	188,687	49.8	69,789	69.5	56,710	67.3	11,623	70.0	4,060	54.2	330,869	57.7
13	221,412	51.0	69,980	75.7	57,144	77.9	15,318	69.0	3,793	59.4	367,647	60.7
14	213,419	52.1	65,464	77.7	53,648	78.4	11,161	77.0	2,921	68.9	346,612	61.9
15	231,985	48.6	65,376	80.5	64,403	74.1	10,943	71.0	2,928	62.3	375,636	59.3
16	251,229	45.9	61,360	84.1	76,452	68.4	12,867	64.0	1,968	66.2	403,877	56.7
17	246,601	51.4	65,221	80.9	101,496	62.3	15,874	63.0	2,348	41.2	431,539	58.8
18	252,609	53.9	57,238	85.2	88,502	72.8	14,267	73.6	84	79.5	412,700	63.0
19	281,439	60.7	46,420	108.2	93,442	79.5	7,796	107.5	30	132.6	429,127	70.8
20	326,258	67.4	32,891	131.7	99,808	82.9	17,496	83.4	0	0.0	476,454	75.7
21	272,832	51.6	38,268	110.8	77,804	73.3	20,510	71.5	5	112.3	409,419	62.3

資料:貿易統計

## 6 糖化製品の用途別販売数量

### (1) 異性化糖の用途別販売数量

(単位：千トン，%)

でん粉年度 用途	14		15		16		17		18		19		20	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
清涼飲料	569.5	51.0	570.4	49.7	574.6	49.5	556.0	48.5	559.6	48.2	565.5	47.4	531.3	46.6
乳性飲料	88.0	7.9	93.8	8.2	97.6	8.4	103.7	9.1	111.1	9.6	119.0	10.0	107.8	9.5
調味料	98.1	8.8	89.4	7.8	86.9	7.5	90.7	7.9	91.0	7.8	92.4	7.7	89.9	7.9
酒類	62.3	5.6	69.8	6.1	79.0	6.8	81.2	7.1	88.9	7.7	97.1	8.1	103.8	9.1
パン類	53.4	4.8	53.5	4.7	53.4	4.6	52.9	4.6	55.6	4.8	56.4	4.7	59.8	5.2
菓子類	29.9	2.7	33.0	2.9	33.5	2.9	31.6	2.8	30.3	2.6	27.2	2.3	25.0	2.2
冷菓	30.7	2.7	31.2	2.7	31.9	2.7	32.5	2.8	35.6	3.1	32.9	2.8	32.1	2.8
漬物	30.6	2.7	29.6	2.6	29.6	2.6	29.1	2.5	27.1	2.3	26.9	2.3	26.2	2.3
缶詰類	8.9	0.8	10.4	0.9	10.4	0.9	11.2	1.0	10.6	0.9	11.5	1.0	10.0	0.9
乳製品	7.3	0.7	8.1	0.7	9.2	0.8	8.2	0.7	8.3	0.7	8.8	0.7	8.9	0.8
医薬	6.2	0.6	7.1	0.6	6.9	0.6	7.5	0.7	6.8	0.6	7.0	0.6	8.7	0.8
その他	131.8	11.8	150.8	13.1	147.1	12.7	141.4	12.3	136.5	11.8	148.9	12.5	135.3	11.9
計	1,116.7	100.0	1,147.1	100.0	1,160.1	100.0	1,146.0	100.0	1,161.4	100.0	1,193.6	100.0	1,138.8	100.0
前年比	+11.6 (+1.0%)		+30.4 (+2.7%)		+12.9 (+1.1%)		▲14.0 (▲1.2%)		+15.4 (+1.3%)		+32.1 (+2.8%)		▲54.8 (▲4.6%)	

(注) 用途のその他には、ジャム、佃煮、練り製品、飼料などが含まれる。

資料：生産流通振興課調べ

(2) ぶどう糖の用途別販売数量

(単位：千トン、%)

でん粉年度 用途	14		15		16		17		18		19		20	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
医薬	19.9	22.6	19.5	22.9	18.7	23.1	19.1	23.8	19.6	24.5	18.7	23.1	19.9	26.2
菓子類	10.8	12.3	10.2	12.0	9.4	11.7	9.1	11.3	9.5	12.0	8.8	10.9	8.0	10.5
調味料	8.8	10.0	7.7	9.0	6.7	8.2	6.4	7.9	6.1	7.6	5.9	7.3	5.1	6.7
粉末製品	6.1	7.0	6.4	7.5	6.6	8.1	6.2	7.8	6.1	7.6	6.4	7.9	6.1	8.0
パン類	6.2	7.0	6.2	7.3	5.4	6.7	5.6	6.9	5.3	6.7	5.9	7.3	5.6	7.4
清涼飲料	2.8	3.2	3.8	4.4	3.5	4.3	4.0	4.9	3.9	4.9	4.2	5.2	3.4	4.5
酒類	4.1	4.7	4.0	4.7	3.3	4.1	3.3	4.2	3.2	4.0	3.9	4.8	3.7	4.8
ガム	3.5	4.0	3.3	3.8	3.5	4.3	3.3	4.1	3.2	4.0	3.1	3.8	3.0	3.9
飼料	3.6	4.1	3.1	3.6	3.3	4.1	3.4	4.2	3.2	4.0	3.1	3.8	3.0	4.0
缶詰類	1.7	2.0	1.6	1.9	1.7	2.0	1.6	2.1	1.7	2.1	1.7	2.0	1.5	2.0
その他	20.5	23.3	19.5	22.9	18.7	23.2	18.3	22.8	18.1	22.7	19.2	23.8	16.7	22.0
計	88.0	100.0	85.1	100.0	80.7	100.0	80.4	100.0	79.9	100.0	80.8	100.0	76.0	100.0
前年比	▲14.2 (▲13.9%)		▲2.9 (▲3.3%)		▲4.4 (▲5.1%)		▲0.4 (▲0.5%)		▲0.5 (▲0.6%)		+1.0 (+1.2%)		▲4.8 (▲6.0%)	

(注) 1. 結晶ぶどう糖及び全糖ぶどう糖の合計である

2. 用途のその他には、乳製品、冷菓、ジャム、佃煮、練り製品、ソルビットなどが含まれる。

資料：生産流通振興課調べ



(3) 水あめの用途別販売数量

(単位：千トン、%)

でん粉年度 用途	14		15		16		17		18		19		20	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
酒 類	186.7	25.3	205.6	27.2	227.5	29.3	241.4	31.6	223.5	31.1	209.9	29.6	205.3	29.7
菓 子 類	117.0	15.8	118.9	15.7	122.0	15.7	127.6	16.7	127.4	17.7	130.5	18.4	127.8	18.5
調 味 料	49.6	6.7	51.7	6.8	52.6	6.8	53.6	7.0	49.1	6.8	52.4	7.4	51.0	7.4
ソルビット	52.2	7.1	51.6	6.8	53.8	6.9	40.6	5.3	37.2	5.2	35.9	5.1	32.1	4.7
乳 製 品	48.5	6.6	50.3	6.6	52.3	6.7	46.5	6.1	38.3	5.3	35.4	5.0	31.4	4.5
ジ ャ ム	34.6	4.7	35.5	4.7	34.9	4.5	36.8	4.8	36.0	5.0	35.1	5.0	37.2	5.4
冷 菓	18.1	2.5	18.5	2.4	16.9	2.2	16.6	2.2	16.6	2.3	16.6	2.3	15.0	2.2
粉 末 製 品	11.6	1.6	13.2	1.7	15.8	2.0	16.3	2.1	17.2	2.4	22.6	3.2	26.1	3.8
医 薬	10.4	1.4	11.4	1.5	9.1	1.2	6.2	0.8	6.5	0.9	6.8	1.0	5.8	0.8
清 涼 飲 料	14.2	1.9	10.8	1.4	8.0	1.0	9.7	1.3	9.3	1.3	9.1	1.3	7.7	1.1
そ の 他	195.5	26.5	189.2	25.0	183.4	23.6	168.0	22.0	157.1	21.9	154.7	21.8	151.6	21.9
計	738.3	100.0	756.9	100.0	776.4	100.0	763.2	100.0	718.2	100.0	709.0	100.0	691.0	100.0
前 年 比	▲16.9 (▲2.2%)		+18.5 (+2.5%)		+19.5 (+2.6%)		▲13.2 (▲1.7%)		▲45.0 (▲5.9%)		▲9.2 (▲1.3%)		▲18.0 (▲2.5%)	

(注) 1. 粉あめを含む。

2. 用途のその他には、パン類、ガム、佃煮、漬け物、練り製品、飼料などが含まれる。

資料：生産流通振興課調べ

7 国内産いもでん粉の用途別販売数量の推移

(単位:千トン)

			14SY	15SY	16SY	17SY	18SY	19SY	20SY
ばれい しょで ん粉	制度対 象用途	でん粉糖(糖化製品)	122	130	141	145	135	92	78
		化工でん粉	8	9	9	9	26	32	27
		水産養殖用餌料	—	—	—	—	—	1	0
		板紙(層間接着用)	—	—	—	—	—	2	1
		めん類(即席めん類)	—	—	—	—	—	8	9
		食品用トレイ・梱包材	—	—	—	—	—	—	—
	小計		130	139	150	153	161	135	115
	制度対 象外用 途	水産練製品・ハム・ソーセージ	18	16	13	11	10	14	15
		めん類	17	15	13	11	9	1	2
		菓子類	7	7	7	6	6	15	18
片栗粉		38	38	38	38	41	50	55	
春雨		3	3	3	3	3	5	9	
その他	16	15	16	11	10	15	21		
小計		99	94	90	79	79	100	120	
計			229	233	240	233	240	235	235
かん しょで ん粉	制度対 象用途	でん粉糖(糖化製品)	66	54	45	45	42	33	37
		化工でん粉	0	0	0	0	0	1	0
		菓子類・めん類・水産練製品・調味料	4	5	7	6	12	7	4
		建材、のり・接着剤、水産養殖用餌料	4	3	3	3	3	3	1
		酒類、オブラート	0	0	0	0	0	—	0
計		74	62	55	54	58	44	42	
合計			303	295	295	287	298	279	277

(注)SYとはでん粉年度(Starch Year)のことで、10月から翌年9月まで。

8 でん粉価格調整制度における調整金収支の状況

22. 2. 5現在

			19でん粉年度	20でん粉年度			21でん粉年度(見込み)			
			実績	見通し(年度当初)	実績	差	見通し(年度当初)	見込み	差	
収入	対象数量	コーンスターチ用とうもろこし 千トン (でん粉ベース)	2,415	2,503	2,307	▲ 196	2,301	2,271	▲ 30	
		輸入でん粉	120	121	127	6	122	129	7	
		計	2,535	2,624	2,434	▲ 190	2,423	2,400	▲ 23	
	調整金単価		円/トン	5,156	5,448	5,505	57	5,755	6,653	898
	調整金等収入		百万円	13,071	14,296	13,406	▲ 890	13,944	15,967	2,023
支出	対象数量	ばれいしょでん粉	135	135	115	▲ 20	135	85	▲ 50	
		かんしょでん粉	44	60	45	▲ 15	60	52	▲ 8	
	交付金等支出		百万円	13,985	15,731	13,455	▲ 2,276	15,319	13,516	▲ 1,803
収 支	単年度		百万円	▲ 914	▲ 1,436	▲ 49	▲ 1,375	2,451		
	累計		百万円	▲ 914	▲ 2,350	▲ 963	▲ 2,338	1,488		

(注1)生産局生産流通振興課試算。

(注2)でん粉年度ごとの数値は、全て発生ベースである。

(注3)でん粉年度当初の見通しにおける調整金単価は、前でん粉年度の平均輸入価格(加重平均)により算定した。

(注4)四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。